

嘉義高級中学との Online 交流会

令和 6 年 12 月 2 日(月)16:00~17:30 に、視聴覚室において嘉義高級中学との Online 交流会が開催されました。来年 3 月に予定されている台湾研修の準備の一環として、英語による討論活動、学校紹介を中心に交流が行われました。事前に行った Zoom 講習会等が功を奏し、生徒はスムーズに Zoom を扱い滞りなく講習会での話し合い活動に専念することができました。

話し合い活動のテーマとしては “Why is Shohei Ohtani popular around the world?” “How do you have your breakfast?” “What do you think about school uniform?” を主な問いとし、それぞれの意見を述べ合いました。7つの Breakout Room に別れ、一高生による司会進行により議論は進められましたが、自分の考えを英語で表現する難しさに悪戦苦闘する生徒も見られました。しかし、この交流会により海外と繋がるのは決して難しいことではなく、英語力向上の機会は無数多く存在することに生徒は気づいた様子でした。

今後は 3 月の台湾研修に向け、英語による課題研究発表、大学施設における講義等の準備を生徒は行います。台湾での研修が有意義なものとなるよう、今回の交流会で得た学びを最大限生かしてほしいところです。



【参加者の感想】

台湾と日本の文化の違いについての話し合いだったが、朝食や制服に関しては大きな違いはなかった。しかし、嘉義高級中学は 8 時間授業と聞いて驚いた。(2 年)

ハプニングが多発しても柔軟に対応すればなんとかなること・台湾との間には違うところもあるが、似ているところもあること。(2年)

何も原稿がない状態で喋るのは難しかった。台湾の人は朝からハンバーガーとかミルクティーとか重いものも食べていることを知った。(2年)

台湾と日本の朝食の違いについて。台湾の学生は朝が早く、朝食は家で食べない人が多い。私たちからすると朝に食べるには重い、ハンバーガーなどがあげられていたのはそれが理由だと思う。英語で話すのは難しく、伝わっているのか不安になるときもあった。リアクションを意識して取り、積極的に話そうとすることが大事だと思った。(2年)

質問が出ないときに司会が質問を促したり、自ら質問するべきだった。司会の役割を果たすのに精一杯だったが、交流していくうちに司会をしながらも会話に参加することができるようになった。1月に嘉義高中が来校する際には、使える会話フレーズを身に着けたい。(2年)



ブレイクアウトルームでは司会を務めた。なかなか英語が出てこず、大変だったが、とても充実した時間を過ごすことができた。英語でのあいづちや、日常的な挨拶などを使えるようにしたいと思った。単語力も高めたい。(2年)

【編集後記】

今回の Online 講習を経験し、「英語を上手に話したい」「より学習に励みたい」と感じた生徒が多かったと感じている。実際に英語でのコミュニケーションを体験し、自分の考えを表現する楽しさや難しさを生徒が深く実感していたことが印象的であった。また、事前に行われた Zoom 講習会では Zoom への接続に戸惑った生徒も、本番ではスムーズに Zoom にアクセスしその機能を使いこなしていた。その成長する姿に今後の活躍を期待していきたい。